

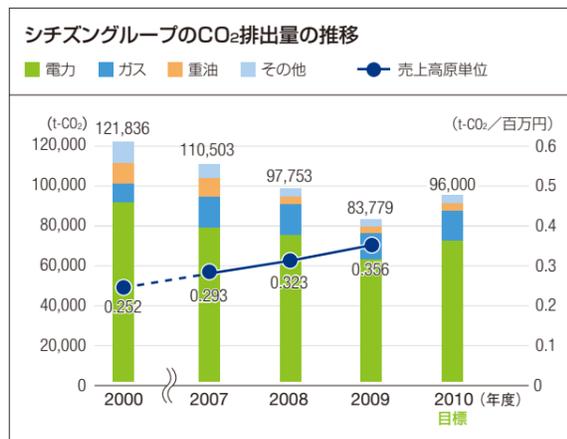
## 地球温暖化ガスの削減

### 地球温暖化ガスの排出量削減

シチズングループではCO<sub>2</sub>排出削減を効率的かつ着実に進めるため、「エネルギー削減分科会」を設置し、各事業所の事例を発表しあって、互いに有効な活動を取り入れながら省エネ活動に努めています。

2009年度は、グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量を「売上高原単位で2008年度比1%削減」「総量2008年度比1,500トン削減」という目標に対し、経済の悪化のため総量では約14,000トンの大幅な減少となりました。逆に売上高原単位ではプラス約10%の0.356となりました。

このように原単位分母が売上高では、どれだけ効率よく負荷が減ったか有効な指標にはなっていないのが実情でした。そこで今後は総量削減をめざしていきたいと考えています。



より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。  
シチズンホールディングス「CSR」環境とシチズン」  
地球温暖化ガスの削減

## 資源の有効活用と廃棄物の削減

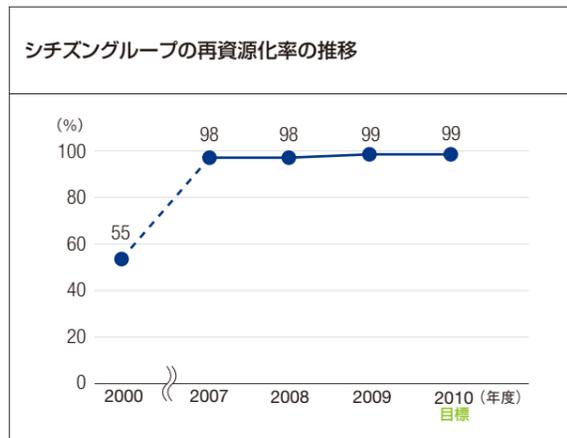
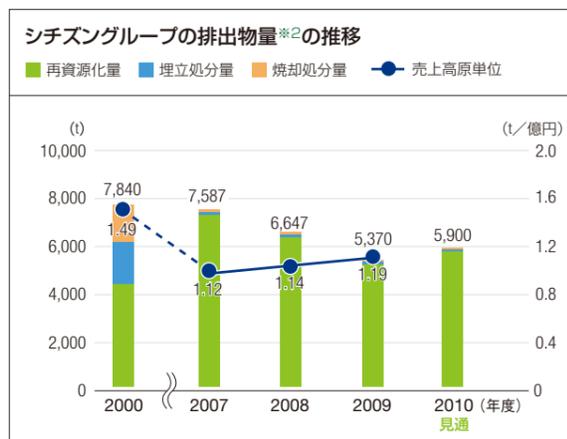
### 廃棄物削減活動の推進

循環型社会の形成に寄与するため、廃棄物となるごみをゼロにする活動に取り組んでいます。2009年度は、グループ全体で「廃棄物量を売上高原単位2008年度比1%削減」、「再資源化率99%」を目標に活動しました。

その結果、グループ全体で再資源化率は99%となりました。国内では16事業所がごみゼロ(再資源化率99%以上)を達成しました。廃棄物の削減については、経済環境のため廃棄物総量<sup>※1</sup>で約660トン減少し、売上高原単位ではプラス4%の1.19となりました。原単位管理は、2007年度以降どれだけ効率良く負荷が減ったか有効な指標にはなくなり、また削減に対しては下げ止まりの状態になってきています。2010年度は、グループ全体で再資源化率99%以上(ごみゼロ達成)の維持を目標としていきます。

※1:廃棄物総量=産業廃棄物量+一般廃棄物量  
※2:排出物量=産業廃棄物量+一般廃棄物量+有価物量

より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。  
シチズンホールディングス「CSR」環境とシチズン」  
資源の有効活用と廃棄物の削減



## 有害化学物質の削減

### 有害化学物質の使用量の削減

シチズングループでは、2003年度より塩素系有機溶剤や代替フロン(HCFC類)の使用量削減に取り組み、2008年に全廃しました。なお、2009年度のシチズングループ全体のPRTR物質の届出状況は下表のようになりました。届出物質の数は4物質で、取り扱い量は2008年度より8トン減少し約33トンになりました。また、排出・移動量は2004年度の258トンから2009年度は22トンへと92%減少しました。

PRTR物質の排出量・移動量(2009年度) (t)

化学物質名	取扱量	排出量				移動量	
		大気への排出	公共用水域への排出	事業所における土壌への排出	事業所における埋立処分	下水道への移動	事業所外への移動
キシレン	13.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
ニッケル化合物	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2
フッ化水素及びその水溶性塩	8.2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	6.1
無機シアン化合物	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	32.6	2.6	0.5	0.0	0.0	0.0	19.0

より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。  
シチズンホールディングス「CSR」環境とシチズン」  
有害化学物質の削減

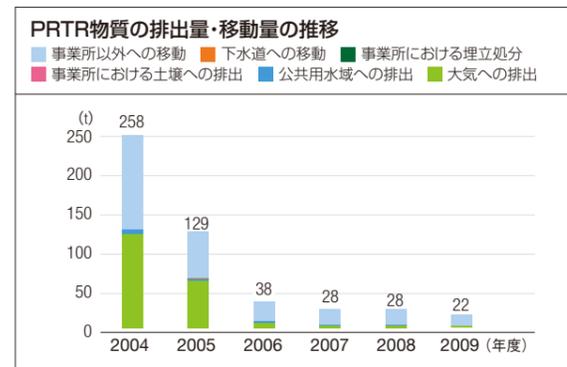
## 環境配慮型製品の充実

### 環境配慮型製品の拡大への取り組み

シチズングループでは、「環境配慮型製品」への取り組みを進めています。開発段階から多項目の製品アセスメント(評価)を実施し、「省資源・省エネルギー」「再資源化(リユース・リサイクル)」「長期使用性」「環境保全性(有害化学物質管理)」「環境情報の提供」「包装材」などの評価基準を、すべて満たした製品を環境配慮型製品に認定しています。2008年度から、さらに厳しい視点でアセスメントを実施する「スーパー環境配慮型製品」の評価基準を設けて、取り組みを進めています。また、ヨーロッパのEuP指令への対応については、具体的な取り組みができるところまで、規制の内容がはっきりしてきましたので今後対応を進めています。

なおREACH規則への対応については、管理システムを導入し、化学物質管理を実施しています。

より詳しい情報はWEBサイトをご覧ください。  
シチズンホールディングス「CSR」環境とシチズン」  
環境配慮型製品の充実



### 中国工場COD除去装置の稼働

シチズンセイミツの子会社であるWALOP中国工場では時計部品・HDD用ガラス・液晶部品などの製造を行っており、メッキ・研磨・洗浄工程などからの排水を処理しています。中国での排水基準は年々厳しくなり、2008年度の法改正によりCOD(化学的酸素要求量)が法規制を逸脱する恐れがありました。

法改正に対応するためには従来の沈殿式の除去施設では限界があり、化学処理式のCOD除去施設を増強し、法規制値90ppmを遵守することが出来ました。

2009年度には地域の排水処理を設けている企業30社のなかで優良な企業BEST3に選ばれました。



化学処理式COD除去施設

### 環境配慮型製品の割合の推移

シチズングループでは、新規モデルに占める環境配慮型製品の割合を2008年度中に100%にすることを目標に取り組みできました。本格的に取り組みをスタートさせた2005年度以来増加し、2009年度はほぼ100%の実績となりました。

